

アドミッション・ポリシー

聖マリアンナ医科大学は、キリスト教的人類愛に基づき、病める人々の心と体の痛みがわかり、かつ、医学・医療の実践者としての確かな専門知識、豊かな感性ならびに高い能力を有している医師の育成に力を注いでいます。

本学が求める学生像

1. 医師を目指す明確な目的をもつ人。
2. 医師になるための品格と倫理観をもち、多様な文化を受容できる人。
3. 医師になるための知性と科学的論理性をもつ人。
4. 豊かな感性をもち、病める人々の心と体の痛みがわかる人。
5. 自分の意見を明確に述べることができるとともに、自己を省察し、他人の意見に耳を傾けることのできる人。
6. 誠実で協調性に優れ、広い視野をもつ人。

本学が求める学力

医師には生涯「自ら学ぶ力」が必要である。そのために、高校では医学を学ぶ上で基盤となる数学、理科をしっかりと学んでおくこと。その際は、表面的・断片的な知識の詰め込みでなく、体系的な知識と確かな応用力を身に付けるよう心がける必要がある。

また、本学では英語が4年次まで必修科目として配当されており、実践的に英語を読み、書き、話すことができるようカリキュラムが組まれている。入学後の英語学習に必要となる、表現力や語彙力を高めておくようにすること。

さらに、本学では小論文試験および面接試験を課し、人物を多面的に評価している。小論文試験では、文章の読解力および表現力、論理的思考力を重視し、面接試験では、将来良き臨床医となるために必要な積極性、協調性、社会性を中心に評価している。